

## 「日アラブ協力に関する覚書（MOC）」（概要）

前文（省略）

### I 日アラブ協力メカニズム

1. 日本とアラブ連盟（以下、「双方」）は、経済フォーラム、「日アラブ政治対話」（以下、政治対話）及び「日アラブ文化教育協力」（以下、文化教育協力）を含む、包括的な協力枠組みとして「日アラブ協力メカニズム」を設立。
2. 双方は、重層的な日アラブ関係の更なる発展と強化に向けて、政治対話及び文化教育協力の枠組みを創設。
3. 双方は、既存の経済フォーラムが2009年のMOCに依拠しながら、日アラブ協力メカニズムの枠組みの中で継続することを確認。

### II 日アラブ政治対話

4. 政治対話は、日アラブ間、地域、国際の共通の関心事項に関する政治協議の枠組みであり、共通利益に向けて更なる政治協力の機会を見出すことを目的としている。
5. 日本国外務大臣、アラブ連盟加盟国外務大臣、アラブ連盟事務総長による閣僚級会合が経済フォーラムと同時期に2年毎に行われる。
6. 閣僚級政治対話の前に高級事務レベルの準備会合が行われる。この会合は、日アラブ協力メカニズムの諸活動のレビューも行う。

### III 日アラブ文化教育協力

7. 双方は、文化交流を一層促進し相互理解を深めるため、文化面及び教育面での協力を強化し、以下の事項の実現に努める。
8. 知識人の交流を強化することで文明間対話を促す。
9. アラビア語と日本語の語学学習や翻訳の分野で相互協力を努める。
10. 文化行事への相互参加を通じて文化協力を強化するよう努める。
11. 教育・研究機関間の協力を促進する。
12. 科学技術分野での協力を促す。
13. 研修プログラムを計画し人材育成を進める。
14. 上記分野での効果的な協力を確実にするために必要と思われる適切な措置を講じる。